

地球と宇宙 演習プリント①

(1) 図3の生物の名前と、繁栄した地質時代を答えよ



(2) 探査機はやぶさが調査した小惑星はどこか

(3) 古生代に起こった大きな変化は何か

(4) 中生代に続く地質時代は何か

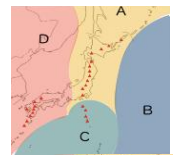
(5) 探査機はやぶさを打ち上げた組織はどこか

(6) 明けの明星は左右どちらが光って見えるか

(7) 地球の表面のうち、海はおよそ何割をしめるか

(8) 地球の直径はおよそ何kmか

(9) Aを何というか



(10) 地質時代における最初の代を何というか

地球と宇宙 演習プリント 解答①

(1) 答 アノマロカリス、古生代

解
説 アノマロカリスは古生代に繁栄した

(2) 答 イトカワ

解
説 小惑星イトカワを探査機はやぶさが調査した

(3) 答 生物が地上に進出した

解 古生代には酸素の増加からオゾン層が作られ、生物に有害な紫外線を遮り、地上に進出可能になった
説

(4) 答 新生代

解
説 中生代に続き、6600万年前からは新生代が始まる

(5) 答 JAXA

解
説 JAXA(宇宙航空研究開発機構)の探査機はやぶさが小惑星イトカワを探査した

(6) 答 左

解
説 明け方の東の空に見える金星を明けの明星といい、左側が光って見える

(7) 答 7割

解
説 地表の海と陸の割合はおよそ7:3となる

(8) 答 1万3000km

解
説 地球は直径約1万3000km、南北がすこし潰れた球形をしている

(9) 答 北米(北アメリカ)プレート

解
説 Aは北米(北アメリカ)プレートで、大陸プレートである

(10) 答 先カンブリア代(冥王代)

解 地質時代の最初の代は先カンブリア代で、冥王代、太古代、原生代に分か
説 れている



↑詳しい解説は作者ブログで
QRコードで移動できます

地球と宇宙 演習プリント②

- (1) 地球上で最初に酸素を作り出したのはどのような生物か

- (2) 東の空に見える金星を何というか

- (3) 大気圏は上空およそ何kmまでか

- (4) 生きている化石の代表とされる、南アフリカやインドネシアで見つかった淡水魚は何か

- (5) 中生代に続く地質時代は何か

- (6) 人類出現前から存在し、姿を変えずにいる生物を何というか

- (7) 水蒸気が水滴に変わる温度を何というか

- (8) 地球を3つの圏に分けよ

- (9) 地球型惑星をすべて挙げよ

- (10) 最初の人類が出現したのは今からおよそ何万年前か

地球と宇宙 演習プリント 解答②

(1) 答 海中のソウ類

解
説 先カンブリア代の後期には海中にソウ類が誕生し、光合成によって酸素を作った

(2) 答 明けの明星

解
説 明け方の東の空に見える金星を明けの明星といい、左側が光って見える

(3) 答 100km

解
説 上空100kmまでは空気が存在する大気圏である

(4) 答 シーラカンス

解
説 シーラカンスは古生代からその姿を変えずに種が続いている

(5) 答 新生代

解
説 中生代に続き、6600万年前からは新生代が始まる

(6) 答 生きている化石

解
説 シーラカンスやメタセコイアなどは、中生代の化石と同じ姿をしているため生きている化石といわれる

(7) 答 露点

解
説 水蒸気が飽和水蒸気量を超え、水滴に変わる温度を露点という

(8) 答 大気圏、岩石圏、水圏

解
説 地球は大気圏、岩石圏、水圏の3つの圏に分けられる

(9) 答 水星・金星・地球・火星

解
説 岩石や金属でできた地球型惑星には水星・金星・地球・火星が含まれる

(10) 答 400万年前

解
説 人類の出現は今からおよそ400万年前で、猿人が最初的人类とされる

◎憂しと見し世ぞ今は恋しき 中学受験講座 <https://haruyou-blog.com>



↑ 詳しい解説は作者ブログで

QRコードで移動できます